

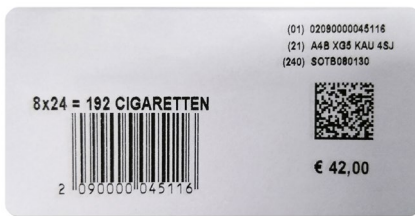


製品情報



タバコ関連

タバコのトラック & トレースに 役立つプリンタ搭載ラベラー



たばこのトラック&トレースに関する規制として、現行の“EUタバコ製品指令”や、グローバルに履行されている“たばこ規制枠組条約 (FCTC)”といったものがあります。タバコ製品のメーカーは、輸送用大箱やバンドル梱包へ印字する内容をこれらの規制に準拠させる必要があります。

Videojet® 9550 はプリンタ搭載型ラベラーであり、タバコケースへ製品識別情報を付加するために必要となる速度条件に加え、データの取得・使用に関する条件も満たすことができます。VJ9550には最先端のシリアル化関連システムや情報集約システムへの接続性と完全な互換性を持っているため、規制に準拠したトラック & トレース用コードのデータを受信し、製品に付加することが可能です。

技術的課題：

タバコやその他のニコチン製品の製品識別情報は、個包装に付加するものに限らず、製品の輸送に用いる大箱やバンドル梱包に付加するものも重要です。欧州連合 (EU) や世界保健機関 (WHO) などが発行するトラック & トレースの指令 (現行の指令および期限が指定されているもの) には、バンドル梱包および輸送用の大箱、大箱の内容物に関する情報集約・追跡の項目が含まれています。メーカーの生産現場では、必要とされる生産量をクリアするためにスピードと正確さが極めて重要となります。ラベル印字システムの遅れが製造に支障をきたすことは、メーカーにとって許容し難いことです。

従来のプリンタ搭載ラベラー (LPA) は 20 年以上にわたって本質的な改良が行われておらず、近年の生産ライン速度に追従し稼働率の必要条件を満たすことが全体的に難しくなっています。24 時間 365 日の生産体制をとる現場では、空き時間を利用して効率の悪さを補うことは不可能です。また、従来のラベラー機器の機械的なプロセスはラベリングのミスやダウンタイムの大きな原因となる場合があります。

ビデオジェットの長所：

タバコメーカーの皆様には、高速印字可能でトラック & トレースソリューションを提供できる、信頼性の高いビデオジェット製品のご利用をおすすめいたします。当社にはタバコ業界での豊富な実績があり、業界で使用されるほぼすべての種類の製造装置に当社の印字ソリューションを統合してきました。当社では、ローカルな小規模メーカーから世界的な大手メーカーまで、幅広いお客様をサポートしております。

VJ9550には画期的な機能が搭載されています。VJ9550の印刷エンジンとアプリケーションはなめらかに連動するように設計されており、パッケージにラベルを直接貼り付けるため、別途タンブ機構 (ラベルを押し付けて貼付する機構) が必要だった時代には達成できなかった速度を実現します。また、Intelligent Motion™ (インテリジェントモーション) 技術により、ラベラーを手作業で頻繁に調整する必要が減少するため、時間当たりの処理能力が向上します。さらに、これまでメンテナンス関連のダウンタイムの原因であった消耗部品を 80% 以上カットし、サーマルリボンやラベルを 60 秒未満で簡単に交換できるようになりました。

“確かな追跡”の重要性



タバコやニコチン製品のメーカーはできる限り効率的に製品を製造することに加え、「不正取引への対抗」、「拡大してゆく世界的なガイドラインへの準拠」のために、製品を販売場所まで追跡できる状態にするよう求められています。

タバコをはじめとするすべての喫煙製品にはトラック & トレースに関する重要な要件があり、輸送用大箱の内容物のシリアル化と情報集約を行う必要があるほか、大箱自体やバンドル梱包に対してもラベリングと情報集約を行う必要があります。製品の安全性の向上が叫ばれる中、印字のニーズは製品の個包装に対するものにとどまらず、輸送用の大箱にまで広がっています。なお、地方条例には EU や WHO のトラック & トレース要件よりも早期にメーカーに対応を求めるものがあります。さらに、近年次々と打ち出されている新しい規制の中には、トラック & トレースソリューションをただちに実施することを義務付けるものもあります。

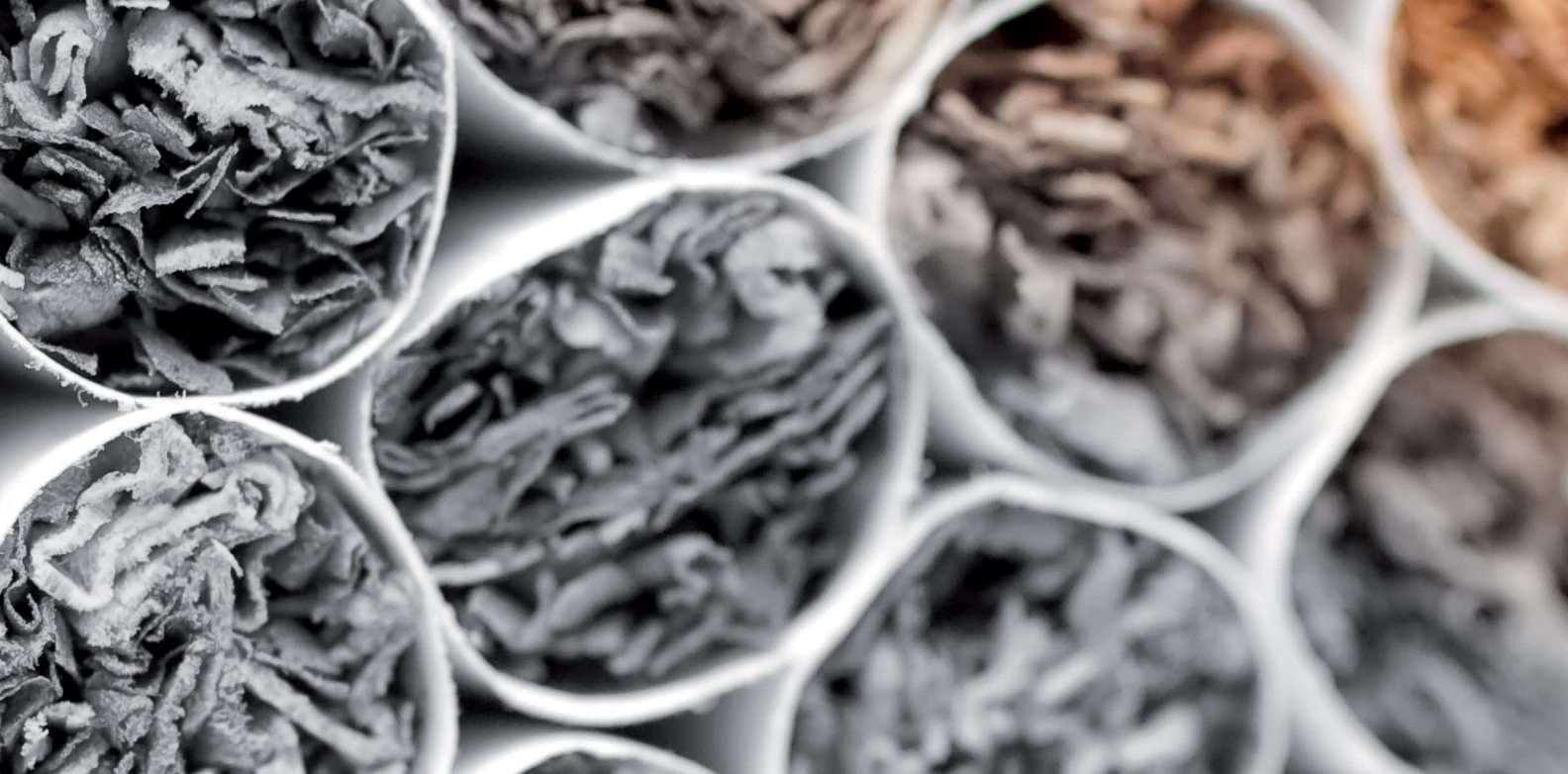
生産の中断やダウンタイムは、特に年中無休で高スピードの生産体制をとるタバコメーカーにとって非常に大きなコストになります。このような生産体制においては、稼働時間を延ばして生産目標を達成する方法をとることができません。中小規模のメーカーでは、生産の中断がメンテナンススタッフに負担をかけ、さらには総生産高に重大な影響を与えることがあります。

従来のラベラーシステムには、印刷エンジンとラベラーという2つの別個のシステムで構成されていることに起因する欠点があります。このようなシステムでは、さまざまな原因によりアプリケーション上のラベルの位置がずれ、ラベルの詰まりや包装への貼り損じが発生することがあります。

従来のラベラーシステムではラベルプリンタとアプリケーションがほぼ独立して稼働し、プリンタが先にラベルに印字を行ったあと、貼付の準備が整うまでタンブ装置の上でラベルを吸引して待機します。この工程が多く稼働部品を使用した複数の段階を経るものであることと、タンブ装置で機械的に押し付けるためのストロークが発生することから、多くの場合、処理能力は1分間に80パック未満に限定されます。また従

来のラベラーシステムでは、貼付前にラベルを保持するための工場エアも必要となります。このためランニングコストが増え、システムのメンテナンスがより複雑になります。

タバコおよびニコチン製品のメーカーで使いやすいラベラーシステムを採用することで、突発的なメンテナンスを最小限に抑え、ラベルやサーマルリボンを迅速に交換できるようになり、ラベリングに関する懸念が軽減されます。VJ9550 プリンタ搭載ラベラーはトラック & トレースソリューションの一翼を担う製品です。このシステムによってすべてのタバコメーカーの印字に係る短期的・長期的要件をサポートすることができます。



プリンタ搭載ラベラー VJ9550の主なメリット

プリンタ搭載ラベラー VJ9550は、ラベル貼付のミスやラベル詰まりを防止する設計になっており、高速かつ 24 時間 365日の生産体制にも対応し、処理能力を向上させ、生産ラインの動きを維持することができます。VJ9550は従来のラベラーシステムよりメンテナンス頻度が低く、サーマルリボンやラベルの交換は 60 秒未満でできるため、メンテナンス担当者は生産ラインにおける他の必要事項に集中できます。実績のある産業用サーマルプリントエンジンは、サーマルリボンの使用量を最小限に抑える自動リボン節約機能を標準装備しています。

VJ9550で使用されている DirectApply™ (ダイレクトアプライ) 技術は、独立したアプリケーターや圧縮エアを使用せずにラベルを確実に正しく配置できるため、貼付ミスやラベルが判読不能になる事態を防止します。従来のラベラーシステムのタンブ装置には調整可能なアイテムが最大で 11 個あり、印刷エンジンからラベルを正しく受け取ってそれぞれの包装に貼付できる状態にするためには調整が必要です。ビデオジェットの DirectApply™ 技術なら、このような調整は必要ありません。また、Direct Apply™ 技術がお客様の用途に適さない場合でも、ビデオジェットは多様な貼付機能のオプションと、さまざまなサイズのラベルをご提供することでお客様のニーズにお応えします。

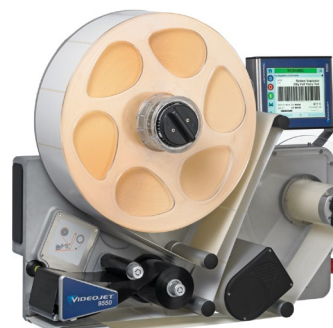
VJ9550は最大 30 m/分 (状況によってはこれ以上) の生産ライン速度に対応でき、1 分あたり最大 130 のバンドル梱包を処理するタバコメーカーでの導入実績があります。VJ9550にはタンブ機構が無く、ラベルを貼り付けるたびにタンブ機構のアームが伸び縮みするために発生する待機時間がなくなるため、高い処理能力を実現しています。場合によっては、1 台の VJ9550が従来のラベラー複数台分の代わりとなるため、製造ラインを分割せずに高速生産を実現できる可能性があります。

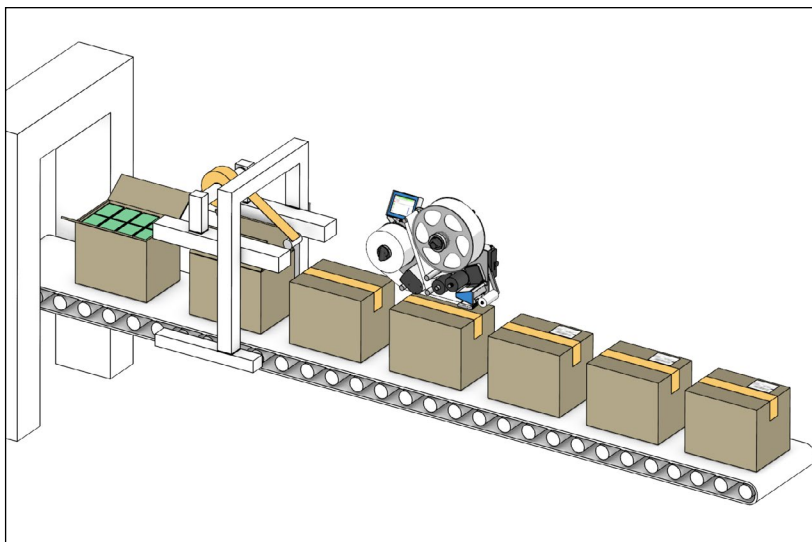
従来のラベラーシステムでは、先にラベルを印字し、印字ヘッドとアプリケーターの間で複数のラベルを保持することが多いため、ラベルを間違った包装に貼付する危険が増します。ビデオジェットの DirectApply™ 技術は印字したラベルをすぐに直接貼付できるため、印字から貼付するまでの間にラベルの入れ違いが発生することはありません。これは、すべての輸送用大箱にトラック&トレースのための情報を付加する必要がある場合に特に重要なポイントとなります。

さらにVJ9550では、Videojet CLARiTY™ (クラリティ) ユーザーインターフェイスによってオペレーターによる入力が最小限に抑えられ、入力ミスがなくなります。またインターフェイス内蔵の印字事故防止技術によって、印字ミスが原因で生じる廃棄物や製品リコールが抑えられます。VJ9550のシステム全体を管理するこの単一のユーザーインターフェイスが、従来のラベラーで使用されている個別の印刷エンジンとラベラーの制御システムに取って代わります。

VJ9550 独自の機能により、以下の原因で生じるダウンタイムが軽減されます。

- 誤ったラベルの貼り付けやラベル詰まりの発生 (生産ラインを停止して清掃や再調整が必要)
- 頻繁なシステム調整
- 頻繁な消耗部品の修理
- 長い時間を要するサーマルリボンやラベルの交換作業
- 煩雑で時間がかかる印字内容の変更プロセス





VJ9550 と Direct Apply™ (ダイレクトアプライ) 技術が統合されたタバコの生産ライン



大切なこと

VJ9550 は製品のトラック & トレースを目的とした使用に適しています。また、生産ラインのダウンタイムに繋がる以下の要因を排除します。

1. ラベルとリボンの詰まり
2. ラベルの貼付不良
3. 切り替え時間
4. 機械の故障
5. 機械の調整

タバコ製品のトラック & トレースソリューションとビデオジェット社の DirectApply™ 技術のメリットの詳細については、ビデオジェットにお問い合わせください。

TEL: 0120-984-602

Email: info.japan@videojet.com

当社ホームページ: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2019 Videojet X-Rite K.K. All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。Codentify は Digital Coding & Tracking Association の登録商標です。

